

# 『泥流地帯』研究会のご案内

三浦綾子研究会第二期が始まります。第一回『銃口』はエキサイティングで豊かな二年半でした。今期は泥流災害から100年を迎え映画制作が本格化する『泥流地帯』『続泥流地帯』。三浦綾子と人類の最も重要な問題の一つ“苦難”をテーマとする作品です。じっくりと、我々のできる範囲で、そしてそれぞれの求めと課題も含めながら研究しましょう。読書会ではなく、大学のゼミぐらいのレベルの研究会にしたいと思います。“三浦綾子大学の学生”の体験をなさるのも良いのではないのでしょうか？『泥流地帯』『続泥流地帯』合わせると三浦文学最大級のこの作品を深く読むことは、三浦文学のすべての面での理解を豊かにし深め、多くのきらめく発見を与えてくれることでしょう。

## 研究会の概要 \*\*\*\*\*

- ・2026年6月より、『泥流地帯』『続泥流地帯』を全30回(2年半)で読みます。月1回2時間半の例会を持ちます。
- ・各回の進め方(案):休憩を入れて前後半2部構成。  
前半:研究発表①資料研究②注釈③読解研究  
後半:質疑応答・懇談・まとめの短いレクチャー
- ・毎月第一金曜日 19:30~22:00
- ・すべてオンライン ZOOM で開催、毎回見逃し配信あり。



## 研究発表 \*\*\*\*\*

- ・参加者で担当を決めて分担し、各自の興味や角度、能力の範囲で研究発表をします。
- ・資料研究では、執筆に使われた資料が作品どう反映されているかなどを調べて発表します。例えば『北海道遊里史考』から深雪楼の設定や記述などに使った部分を探して比較考察を発表します。
- ・注釈は、圧倒的に最大の資料『十勝岳爆発災害誌』および、ネットや事典等の書籍類などから、作品に出てくる分かりにくい事項、言葉、知っておくべき重要なことを調べて紹介します。
- ・読解研究は、感想から入って大事な所を探し、人物の言動や文章の意味、作者の意図など、つまり“なぜそう書かれているのか”を考えて発表します。
- ・他に自由な発想での研究発表も可能です。どの研究でもアドバイスをさせていただくことができます。

## 募集定員と参加費 \*\*\*\*\*

- ・会費は1年ごとの定額制とします。 \*途中からの参加、途中で参加種別変更の場合は別額。  
①研究会員(募集:24名程度)1年12回 21,000円 \*定員になりましたら締め切りとなります。  
\*各回発表資料あり、研究用資料提供あり、指導(助言)あり、発表権利あり、懇談参加権利あり。  
\*定員の24名になった場合は1人が一年に資料研究または注釈1回と読解研究1回の計2回になります。
- ②聴講会員(定員なし)1年12回 15,000円 \*研究発表なしで聴講のみ。各回発表資料あり。
- ・聴講会員も含め資料『十勝岳爆発災害誌』が必携です。お持ちでない方はチラシ裏面の複製本をお求めください。

申し込み締め切り 研究会員：2026年4月15日 / 聴講会員：5月末

## 説明・相談会 \*\*\*\*\*

- ・募集締め切り後、参加者が決定したら、具体的な説明と担当などを決める相談をする会を開きます。

2022年4月17日(金) 19:30~ 90分程度(ZOOMで)の予定

お申し込み、お問い合わせ [shiokaripass@gmail.com](mailto:shiokaripass@gmail.com) 電話 090-2058-5978 (いずれも森下)

主催：三浦綾子読書会三浦綾子研究会

『泥流地帯』を書くきっかけであり、圧倒的に重要な資料だった 100 年近く前の本です。

## 『十勝岳爆発災害志』複製本のご案内

『十勝岳爆発災害志』は、三浦綾子の小説『泥流地帯』『続泥流地帯』執筆のきっかけとなり、また最重要資料として、現地上富良野での聞き取り調査と共に圧倒的に使用した文献です。十勝泥流 100 年を記念すると共に今年スタートする『泥流地帯』研究会の必携資料としてコピー復刻本を作製することにしました。郷土史資料として三浦綾子研究の資料として、ぜひこの機会にご注文ご購入ください。多くは印刷しませんので、後では買えません。古本は在庫僅少で高額です。

### 『十勝岳爆発災害志』

編纂者 元空知支庁社会係主任 片山敬次  
発行所 北海道庁学務部社会課内 十勝岳爆発罹災救済會  
発行日 昭和四年三月二十五日  
判型 菊判（縦 22cm、横 15cm）  
印刷所 札幌印刷株式会社

\*序 3 頁、目次 7 頁、本文 521 頁、地図 1 枚、写真 18 頁・47 枚、略図 2 枚。

### 目次

- 第一章 十勝岳について
- 第二章 災害の状況
- 第三章 救護組織と計画
- 第四章 応急善後施設
- 第五章 御下賜金の伝達頒賜
- 第六章 義捐金品の募集及処分
- 第七章 復旧復興諸施設
- 第八章 交通通信施設
- 第九章 公私諸団体の救援活動
- 第十章 美談哀話奇談
- 第十一章 災害余録

\*地学的情報から哀談秘話まで、十一章、七十八節から構成された貴重な歴史記録資料です。

\*漢数字で記されていた頁数字は算用数字にして頁下部に移動し、各ページの端に縦書きで入っていた章のタイトルは上部に移動します。綴じ込み図版は折り込みで、箱はつきません。中身は完全にコピーです。

予定価格 10000 円（予約注文冊数により変動あり。送付を希望される場合は実費送料が必要です）

予約締切 2026 年 3 月末日 5 月上旬出来予定

予約、問合せ shiokaripass@gmail.com または 090-2058-5978（いずれも森下）

\*ご注文は、お名前、連絡先（メールアドレスか電話番号）、冊数、送付希望の場合は送付先をお知らせ下さい。

研究発表しない聴講の方も含め『泥流地帯』研究会に参加希望の方は必ずご準備ください。

どなたでもお買い求め頂けます。十勝泥流のすべてが分かる本、『泥流地帯』執筆過程が分かる本、そして上富良野の郷土史資料としても非常に貴重な本です。ご予約ください。

